泉太郎による作品コメント

《使用済み扉/立て掛け画板/磨かれた錠剤》

壁に取り付けられたパネルが並ぶ風景を撮影した映像が再生されています。
この映像は、全てのパネルの裏に人が入った状態で撮影されています。レンズから隠れた場所にいる人の痕跡や気配のようなものはビデオカメラに捉えらることはできないのでしょうか。

壁とパネルの間の距離はテレビのサイズを基準に決められているため、小さいサイズのテレビが設置されている場所はより狭いスペース、大きなサイズのテレビが設置される場所は比較的広いスペースに人が入ることになります。

《ニュースペーパー》

何かを探るように壁を叩いているのは、普段美術館などの設営の現場で働いている人物です。こういった姿は美術館やギャラリーでは時々見かける光景です。絵画などを取り付ける際に、壁の裏のどの部分に構造が入っているのかを確認するために、このように叩いて、音によって判断するのです。

今回の壁の内側にはいくつかの場所に木の板や角材で構造を入れてあります。叩いた音で構造の位置を探り、白いスプレーでマーキングしていきます。構造の位置は誰にも伝えおらず、見ることもできないため、マーキングされた位置が正しいかどうかは確認できません。